

農山村漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル JAそうまでのABL対応資金の創設

JA名 そうま（福島県）

1 動機 (経緯)	JAそうまでは地域の畜産農家の素牛導入に際して、従来の預託方式に加え、JAプロパー資金での対応等、多様な素牛導入支援の方法を検討しておりました。 一方、JAプロパー資金での対応においては、担保提供可能な不動産が少ない畜産農家への対応が課題となっていました。
2 概要	これらの課題解決に向け、JAそうまでは動産担保融資（ABL）の取扱いに向け、平成26年11月に新資金「JAそうま肥育素牛導入資金」を創設しました。 資金創設に際しては、JAそうま・農林中央金庫福島支店が連携し、JAそうま職員向けのABL勉強会の開催、福島県農業信用基金協会の保証付与に向けた基金協会との協議等を行いました。
3 成果 (効果)	JAそうま肥育素牛導入資金は肥育農家への極度額20百万円に利用されるなど、地域の畜産業の担い手支援に貢献しています。
4 今後の 予定(課題)	引き続き当該資金の活用を通じて、地域畜産業の担い手の支援に取り組む予定です。

「JAそうま肥育素牛導入資金」の取組み

